

□町家利活用プロジェクト会議 平成 21 年度の取り組み内容について**1. 町家じょうほうかんの推進**

(1) 空き町家見学会の継続実施

- ・ 物件情報収集における地元不動産会社との連携
- ・ 活用希望者への条件等提示に関する工夫（家賃設定、平面図等）
- ・ 活用意向別の紹介方法検討（住居希望、店舗希望）

(2) 大津百町市の継続開催

- ・ 地元商店への参加呼びかけ実施（店舗でののぼり設置）
- ・ 百町市での参加商店の紹介（百町市特別サービスや商品の提供を依頼・特に食料品店）
- ・ なぎさのテラスとの連携（百町市のチラシ設置依頼）

2. 旧町名看板整備事業の推進

- ・ 看板の試作品作成

内 容：旧町名を記す看板を試作し、説明会に使用したり、試験的に現地に設置したりすることにより、地域の方々にイメージを示す。

必要経費：10 万円（≒@33,600 円×3 枚）

- ・ 試作看板の設置候補場所交渉

3. 修景事業の推進

- ・ 候補建物の修景イメージパースの作成

内 容：修景整備後のイメージパースを作成することにより、修景整備の理解を深めていただくとともに、協定区域の拡大や補助制度の利用促進を図る。

必要経費：30 万円（= @100,000 円×3 枚）

- ・ 協定区域の拡大（複数町を募って説明会開催）

4. 地域を巻き込んでいく事業の推進

(1) 登録文化財への指定

内 容：町家を登録文化財に指定することにより、町家の価値を再認識するとともにまちづくりに活かす取り組みにおいて、試験的に登録文化財に登録して事業を先導する。

必要経費：35 万円（申請書類作成他）

(2) ほめる事業（まちのよいものを見つけてほめる）**(3) 統一ロゴのぼりの活用**